



第326号

2004年(平成16年)

1月20日

発行 明治大学
 編集 明治大学広報部
 TEL 03(3296)4083
 E-mail:
 koho@mics.meiji.ac.jp
 東京都千代田区神田駿
 河台1-1 (〒101-8301)

新年所感

今年を明治大学躍進の年に

学長 山田雄一



としての本学の新段階へ向けての発展の礎が据えられました。

学部および大学院の、こうした体系的整備が社会的構築体としての大学の間口の拡張とするなら、文部科学省の「特色ある大学教育支援プログラム」に去る9月、80大学の1つとして本学が選択されたことは、大学の興行きの深さを評価されたものと申せましょう。COEに類比してCOLと通称されるこの施策に、本学が単独申請したテーマは「ネットワークを用いた教育学習支援システム」で、インターネット社会での高度情報実践力養成講座の長年に亘る実績を踏まえた、いつでも誰でもアクセスできる「Ohio! Meijiシステム」の開発と活用が評価された結果の採択です。併せて13大学共同申請(幹事校芝浦工業大学)の「ツイニングによる国際化への積極的取組」が同時に採択

国際化の面では、ルノー財団パリ国際MBAの発足を機に、昨年10月同社CEOルイ・シュヴァイツァー氏に名誉博士号を贈呈し、フランスとの交流を大きく進めることができました。

また昨年は、3年間の休止を脱却して新生「明大祭」が盛大に開催されるとともに、第3回「生明祭」が前2回にも増す盛り上がりの中に実行されました。

このように、多大の実りを以って旧年をふりかえることができたのも、学生の皆さんの努力とご父母のご支援の賜物と感謝にたえません。お蔭様で環境条件もほぼ整えおわり、学生の皆さんの表情も明るさを増し、本来の明大スピリットを全面発揮できる状況になりましたことは誠に喜ばしいことです。

そうした中で、去る12月13日体育会総会が開催され、1と2の常勝運動部を別として、目下臥薪嘗胆の期間を耐えつつある多くの部から、新たな飛翔へ向けての明確な決意表明がなされたことは心強い限りでした。

明大は試みを経て一層輝きを増しました。今年を、明治大学躍進の年にしようではありませんか。

2004年の新年を迎え、学生の皆さんに心より「おめでとうございませう」と申しあげます。今年の4月には、明治大学が半世紀ぶりに新学部を発足させます。「情報コミュニケーション学部」がそれです。

同時に高度専門職業人養成型大学院として「法科大学院」「ガバナンス研究科」「ビジネススクール」の3つが開設されます。これら4つのスクールは、去る11月文部科学省より揃って設置認可書を交付され、ここに総合大学



「千両蜜柑」の面白さが理解しにくくなった▼ところで、「らしさ」には季節感ばかりでなくいろいろなものがある。職業に当てはめてみよう。国語としては不正確かも知れないが、「らしさ」には友人であるという意味もあると思う。高速バスの飲酒運転、新幹線運転中の携帯電話での写真撮影は言語道断として、政治家、公務員、芸能人などにも「らしさ」のない人が増えてきた。自省をこめて、これは教師にも当てはまる▼だから「さすがプロ」という人、出来事に遭遇すると感激する。もちろん、生まれながらの友人はおらず、もって生まれた才能に不断の努力が重ねられて開花する▼専門職大学院とは、「らしさ」のある友人を育てる場であり、そこで学ぶ人たちは学部生とは違った「らしさ」を持っているかも知れない。でも、明治大学に籍を置く人間として、プロ意識・知識とともに明治大学の「らしさ」も身につけて欲しい。

点

2004年。4月、明治大学には新学部や専門職大学院が誕生する

- 主な内容紹介
- 駿河台A地区ISO14001認証取得……………(2面)
 - 2004年度夏期海外語学研修案内……………(3面)
 - 留学生日本語スピーチコンテスト受賞者報告……………(4面)
 - 文学部演劇学専攻公演「ハムレット」報告……………(5面)
 - 相談室の窓から……………(6面)
 - 大学の散歩道……………(7面)
 - SARSについて……………(8面)

環境保全活動

駿河台A地区で

ISO14001認証を取得!

既に本紙でもお知らせしている
 とおり、本学ではISO14001
 1認証取得に向けた環境保全活動
 を展開してきましたが、昨年10月
 15、16日に審査登録機関「(社)日
 本能率協会審査登録センター」に
 より執行された第2段階審査の
 結果、本学駿河台A地区(リバイテ
 タワー・研究棟・図書館)を対象
 に、教職員・学生・関係者各位の
 協力によりISO14001認証
 を取得し、12月16日に日本能率協
 会で認証授与式が行われました。



本学からは、環境管理責任者の
 市川宏雄教授(政治経済学部)が、
 環境保全推進委員会を代表して授
 与式に出席し、日本能率協会の小
 河信夫理事長から審査登録書を授
 与されました。授与に当たって、
 市川教授は「取得できたというこ
 (環境保全推進委員会)

ルノー財団パリ国際MBAプログラム

商学部4年・永田ゆかりさんが 派遣留学生に選ばれる!

本紙7月号でもお知らせしたと
 おり、ルノー財団パリ国際MBA
 プログラムでは、2004年度の
 派遣留学生を募集していたが、この
 ほど選考が行われ、明大からは商
 学部4年生の永田ゆかりさん(鈴
 木義夫ゼミナール)が選ばれた。
 このプログラムは、フランスの
 ルノー財団と日本の13大学(明大
 の他、北大、東北大、東大、名大、
 サルティンクの仕事を携わること
 を贈呈している。

京大、阪大、九大、一橋大、東工
 大、早大、慶大、上智大)との協
 定に基づき、ルノー財団から財政
 支援を受け、世界的名声の高いパ
 リ第1大学(バンテオン・ソルボ
 ドフィヌ大学) および第9大学(パリ
 欧州の経営マネジメントを学び、
 修了時には両大学の共同学位「パ
 リ国際MBA」が授与されるもの。
 永田さんは「私はルノー財団パ
 リ国際MBAプログラムに参加し、
 MBAの資格をとり将来会計コン
 サルティンクの仕事を携わること
 を贈呈している。

大学院特別講義

「イノベーションのための ブレイクスルー・マネジメント」開催

さる12月8日、マサチューセツ
 ツ工科大学(MIT) 客員教授
 司馬正次氏(筑波大学名誉教授)
 を迎えて、大学院共同研究「技
 術経営に関する教育プログラム
 の調査研究」(代表 大滝 厚
 理工学研究科教授)との共催で、
 表題の講義が文系、理系の大学
 院生対象に駿河台大学院講義室
 で開講され、20数名の聴講者が
 出席した。

近年、技術系の学生に対する
 マネジメント教育や日本の国際
 競争力を回復するためのMOET
 (Management of Technology、
 経営のわかる技術者、技術のわ
 かる経営者)の育成が求められ
 ていることを背景に、本学大学
 院の組織横断的調査研究として

進められている研究成果の一端を
 紹介する目的もあって開講された
 ものである。
 司馬氏は、1990年以来MIT
 のスローン・スクール(経営大
 学院で教鞭をとるかたわら、米
 国の製造業にTQMを導入・指導
 して、国際競争力回復に貢献した
 ことでよく知られている。またMIT
 においては「金魚鉢の理論」
 で高い評価を得ると共に、200
 1年度のThe Sloan Teaching Ex
 cellence Awardを受賞したスロー
 ン・スクールの名物教授である。

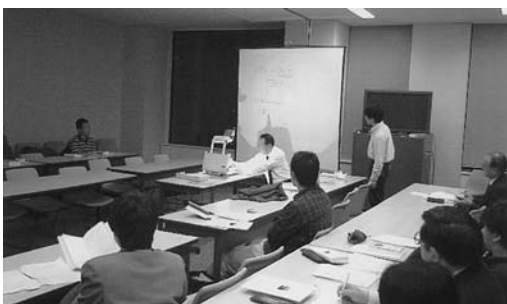
今回は、同氏が永年にわたって
 研究してきた「ブレイクスルー・
 マネジメント」(東洋経済新報社)
 の日本語出版を機会に、そのエッ
 センスをMITの講義スタイルそ
 のまで行ったものである。氏
 は、このテーマをLeaders for
 Manufacturing (LFM)と
 している。LFMは、社会人を
 対象とする2年間のコースで、
 MBAとMSc(工学修士)の
 二つの学位を同時取得できる人
 気の高い、エリートコースであ
 る。

司馬氏によると、ビジネスA
 を起業し、市場導入してからそ
 の終焉に至る過程で三つのマネ
 ジメントタイプが観測されると
 いう。一つは標準通りに作るマ
 ネジメント、二つ目は継続的に

改善を進めてビジネスの質を向
 上させていくマネジメント。そ
 して、最後にビジネスAの終焉
 を予知して次のビジネスBへ移
 行していくためのブレイクスルー・
 マネジメント(BT)である。
 氏の講義では、BTとは何か、
 BTにおけるマネジメントの定
 石、そのためのスキルについて
 具体例を示しながらの分かりや
 すい紹介が行われた。とくにス
 キルでは、科学的分析方法の重
 要性と共に、直感や未来をみる
 新しい三現主義(周辺をみる、
 シンボルを読む、比較する)が
 必要であるとして、絵画を題材
 に興味ある説明が行われ、目か
 らうことであった。ある意味で、
 BTは「情の論理」(経験)を
 「理の論理」(思考)へと変換す
 るプロセスとも言えよう。また
 BTは「個」から「組織」へと
 進展して、その結果がビジネス
 へと繋がるといふ。本学が標榜
 する「個を強くする」という目
 標の一つにもなる考え方である。

今回の講義には関係する教員
 も聴講したが、講義や質問に対
 する工夫が随所になさかれてい
 てファカルティ・ディベロップメ
 ント(FD)教員が授業内容・
 方法を改善し、向上させるため
 の組織的な取組の総称)の一環
 としてもおおいに参考となった。

(理工学部教授・大滝 厚)



質問に答える司馬教授

2004年度 夏期海外語学研修 直接異文化に触れてみるチャンス

4月に説明会開催

明治大学国際交流センター

明治大学国際交流センターでは協定校であるカナダのヨーク大学とイギリスのシェフィールド大学で夏休みの約1ヶ月間、海外語学研修を実施しています。これまで延べ820人以上の学生がカナダやイギリスという異文化環境のもとで研修を受けています。

学生時代という様々なことを吸収できる時期に直接異文化に触れることは、国際的視野や感覚を身に付けることに大いに役立つと思われます。コミュニケーション可能な英語力をつけたいと思っている学生はもちろん、英語を学習しながらカナダやイギリスの社会・文化についても学び、考えたい学生にとっても充実した時間を過ごせることでしょう。

例年、本研修参加者のうち数名が協定校・認定校への正規留学を果たしています。

この海外語学研修を2004年度も8月に実施します。予定募集人員はヨーク大学が45名、シェフィールド大学が32名。研修の特徴は①出発までの学内事前オリエンテーション、②研修先での明大担当コーディネーターの設置、③午前にはベテラン英語教員が担任となって小人数クラス別語学授業、④午後はプロジェクトワークなど学生自らが考え、研究を行うアカデミックプログラム、⑤本学教職員の同行、⑥キャンプやホームステイなど週末や放課後に行われる各種見学旅行や交流行事の実施などです。

宿泊は、ヨーク大学がキャンパス内の学生寮、シェフィールド大学は前半が学生寮、後半は2週間のホームステイとなっています。また、ヨーク大学は週末にホームビジットが予定されています。

費用は研修費、旅費、宿泊費、各種行事を含めてヨーク大学が



イヤムへのタスクトリップで語り手の説明を受ける

約45万円、シェフィールド大学が約58万円を予定しています(為替変動による変更があります)。

◎参加者募集・選考

4月中旬から5月中旬にかけて募集。4月中に各地区で説明会を行います。応募者には5月中旬に選考を実施する予定です。その他詳細については、4月初旬から配付する募集要項および学内掲示板のポスター、国際交流センターのホームページ (<http://www.meiji.ac.jp/cip/summer.htm>) を参照ください。

☆下記の2003年度イギリス・シェフィールド大学参加者の体験報告をお読みください。

短期海外留学に参加して

商学部2年 小松知世



私は今までの1〜2ヶ月という短期留学について、短い期間では英会話の能力の向上は難しいだろうし、海外に行かなくても英語の勉強は自分一人でもやれば良い、と考えていました。しかし、母親の勧めもあって参加した説明会で、昨年の参加者である先輩達から感想を聞いて、日本で過ごす夏休みとは違った経験ができるかもしれないと思いい、この語学研修に参加することにしました。

私はこれまで1〜2ヶ月という短期留学について、短い期間では英会話の能力の向上は難しいだろうし、海外に行かなくても英語の勉強は自分一人でもやれば良い、と考えていました。しかし、母親の勧めもあって参加した説明会で、昨年の参加者である先輩達から感想を聞いて、日本で過ごす夏休みとは違った経験ができるかもしれないと思いい、この語学研修に参加することにしました。

イギリスで過ごした1ヶ月は、平日は授業やタスクトリップ、週末は友達と買い物や小旅行に出かけるなどして毎日を本当に活動的に過ごしていました。

この語学研修では、何か得られるものが必ずあると思います。ぜひ、この語学研修に参加し、1ヶ月を通して様々なことを経験し、今後の学生生活に活かしていきたいです。

シェフィールドの思い出

経営学部3年 坂本龍一



留学前、英国といえば「紳士・淑女の国」お堅いお国柄」というイメージが僕にはありました。ところが、そんなイメージもひとたび英国のパパに足を運べば揺らいでいきました。「酒とサッカーは生活の一部」、そんな言葉がピッチシ当てはまる「豪快なお国柄」とも言うべきか、とにかく飲む、語る、歌う：普段見慣れない僕達を見つけては酔った勢いでどんどん話しかけてきました。不思議なことにお酒の席では、英会話の苦手な僕でも普段より会話が弾んで、友達から「酒飲んでるときの方が自然

だ」と言われたくらいです。こんな体験をした町シェフィールドも、日中はとても穏やかで暖かびりとした雰囲気をもった町です。そんなシェフィールドで僕がお勧めするのは2つ。ひとつは公園です。なかでも学生寮近くにある公園は僕のお気に入りです。眠い眼をこすりながら早朝の公園に足を運べば、リスがお出迎え！そんな日はもう、1日がとてもいい気分が始まりました。そしてもうひとつは大学近くのサンドイッチ屋。とにかくうまい！本当にうまい！！食べれば納得の値段とボリューム(これ以上

何も言うことはないです)。昼間は公園でサンドイッチを食べ、夜はパブへ繰り出す。こんな体験ができるのもこの研修の魅力だと思います。また、カナダ研修にはない最大の魅力は「ホームステイ」だと思います。多くの家庭は他国の留学生も同時期に受け入れているので、ホストファミリーを独り占め！とはいかないですが、別れ際に涙がでるくらいに仲良くなれたら最高です。まだまだ言いたいことはたくさんありますが、最後に一言。「先入観でものごとを考えず、自分で見、聞き、体験すること」をたくさん実行したことが、自分にはプラスになっています。グループ行動もいいです。でも時には個人で町を歩いてみるなど、自分だけの体験もいいことだと、この研修をとおして強く感じました。

納得の値段とボリューム(これ以上



第8回明治大学学長杯 留学生日本語スピーチコンテスト受賞者報告

前号に引き続き、2003年度第8回明治大学学長杯留学生日本語スピーチコンテストで、3賞を受賞した留学生のスピーチ内容と喜びの声を紹介する。

連合父母会
会長賞

肖鶴 (シヨウ・カク)
経営学研究科
博士後期課程
1年・中国

私は「力士になりたい」(抄)



日本に
来て、初
めてテレ
ビで相撲
の試合を見た時、「あ、でっかい裸で試合をやっているのか」と愕然としました。留学する前に聞いていたように、日本の女性たちが惚れる気持ちがなかなか理解できませんでした。

審査員特別賞

ジャスリ・ビン・カシム

政治経済学研
課程1年・マ
レーシア



わたしは、去年の夏、私は「椎間板ヘルニア」を患い、止む無く一時勉強を中止し、安静にしていなければならなくなりました。そんな間に自分の最善を尽くすことも相

シアからまりました。せいじがくを勉強するがくせいです。じつは日本にくるまでいちども日本語を勉強したことがありませんでした。ですから、はじめて日本語を勉強したとき、とてもたいへん

撲の難しさではないかと思えます。力士は土俵の上で、自分の相撲で勝負します。そして、相手だけではなく、自分自身とも闘います。相撲は「心・技・体」だと言われています。「技」は年々進歩してい

「心」は鍛えることにより、逞しくなります。しかし、それだけでは力士として充分ではありません。「心」を強くすることも大事です。体ができていても、心が疲れてしまっていたら相撲をとる意欲も無くなります。「心」は体を結びつけ、強くするものだからです。どんな状況にも対応できてこそ本当に強い心だと思えます。私は力士に「心」を学び、元気に自分の夢を追いかけたいと思います。

このようなまちがいやたくさんしながら、すこしずつじょうたつしています。日本語を勉強することはとてもたいせつです。なぜなら、あたらしい「けん」をしたり、ともだちができた、日本でのせいかつがらくになったりするからです。そして、なによりも、日本語を勉強したことで、きょうこのスピーチコンテストにさんかすることができました。もう1年勉強

受賞して

参加するだけで、大きな意味を持っていますね。つまり、自分の「最善」を尽くすことだと思えます。そして、皆さんの若々しい姿が見られ、多彩なアイデアを聞き取れることが何より嬉しいですね。本当に勉強になりました。ステージに上がる前に、ドキドキしましたが、支えてくれる友達、先方をみると、勇気がいっぱい湧きました。うまく自分の「相撲」が取れることが何より嬉しいですね。

多文化賞

崔雪花 (サイ・セツカ)

短期大学1年・中国

異文化と友(抄)



中国と日本は歴史的にも深く長いつきあいがありますが、当然文化は大きく異なります。異文化における価値観の違いは、生活のあらゆる面で新鮮な発見を生み出しますが、私にとっては同時に不安やストレスをも生みます。特に、大学入学後、最大の不安は「この先、日本人の友達とうまく付き合えるかどうか」ということでした。

受賞して

第一の原因は年齢に関するものです。夢をたくさん抱き日本に旅立ってきて、やっと入学したとき、私は25歳になっていました。大学生活を少しでも満喫したいという一心で入った部活動でしたが、あの時年下の先輩から「25歳になってから始めるなんてふざけてないか」と言われてしまいました。中国ではたとえ後輩でも年上であれば敬意を払うことは当然です。中国文化と比較したとき、年齢に対する概念が異なっているのです。

第二の原因は言葉の表現の微妙なニュアンスです。本心ではないけれど、きちんとした言葉の整理ができず、結果として友達を傷つ

中国のハルビンから来ました。今回のスピーチコンテストに参加させて頂き、賞まで頂いてとても嬉しいです。また、自分の日本語能力が進歩したと感じます。2年間の留学生生活で身をもって実感し、最も大事だと思ったのが「友達」でした。これからももっと充実した留学生生活をおくれるよう、学問に励みながら、様々な経験を、もっと多くの日本人の友達を作りたいです。

文学部文学科演劇学専攻公演 上出来! 『ハムレット』



(文学部教授 武田 清)

学生がシェイクスピアの大作『ハムレット』の上演に挑むなど身の程知らずもはなはだしと思われた方も多かったのではなからうか。そんな方々にこそ和泉キャンパスに足をお運び願いたかった、というのが私の偽らざる心境である。

11月29・30の両日、和泉キャンパス第2校舎6番教室を使って計3回上演された演劇学専攻学生上演団体による『ハムレット』公演(多和田真太良演出・文4)は、雨もよいの足もとの悪い条件であったにもかかわらず、合計で700名近くの観客の皆様に来場いただき、成功裡に幕を下ろすことができた。

シェイクスピアによって1603年頃に書かれたとされる『ハムレット』は、古来幾多の演出家によって新たに解釈され、演出されてきた名作である。演出家に新たな演出をなされることを常に挑発し続ける作品であると言ってもよい。どうして学生が演出していけない理由があるか。だが、『ハムレット』は演出だけでなく、既に固有名詞になっているような有名な役々を演じることができず俳優をも否応なく要求してくるのである。

昨年6月、同じ和泉キャンパスで『くたばれハムレット』(ポール・ラドニック作)を上演した際に俳優として出演していた学生たちは、私の予想をはるかに超えて、その技量を上達させていたのである。あの膨大でレトリックにあふれた台詞(松岡和子訳)を案々と操って、深刻なだけではなく時として滑稽でもある諸場面が6番教室をフルに利用して展開されていた。上出来! 『ハムレット』であった。

末筆ながら公演準備期間中、協力を惜しまれなかった和泉の庶務課、教務課を初めとして職員の方々に心から御礼申し上げます。それにつけても和泉キャンパスにも上演用ホール教室があったらなあ、と痛感したのは私一人ではなかったらう。

第3回「生明祭」を終えて



第3回生明祭が2003年11月22日(土)〜24日(月)までの3日間にわたり行われました。本祭前日の準備が始まるまで雨が降っていたのですが、いざ準備を始めようとする時にはすっきり天候が良くなり、その後3日間と片付けの時までずっと雨が降らず、神がかり的に天候には恵まれました。

好天に恵まれたこともあり、学内関係者をはじめ、多くの近隣住民や学校見学に来られた方々にも来場して頂きました。来場者も盛り況のため、2日目には用意した材料を全て使い果たし、閉店となる模擬店もいくつもあるほどでした。また、同日に開催されたドラゴンドラゴン、スピードワゴン、CUBEによるお笑いライブでは、特設ステージと中央校舎の間が人でいっぱいとなり通行が困難になる

ほどの人出でした。一方、理科部連合会による理工展や中央校舎1階ホールで行われた交響楽団などによる演奏会も大変好評でした。その他、農学部による野菜販売や花卉園芸部による植物販売は、例年どおり好評でした。

今年度は、昨年以上にホームページに力を入れ、大手検索サイトなどでの掲載を含め対外的な広告活動にも力を入れてきました。その成果が、先ほど述べた来場者の増加に部分的ながら出てきたのではないかと思います。

最後になりましたが、生明祭を開くにあたり多大なる御協力、御指導、御鞭撻を頂いた先生方、関係者の皆様方に感謝申し上げます。



第3回生明祭実行委員会委員長・吉田兼敏(理工学部3年)

サークル紹介「トライアスロン部」

私たちが体連トリアスロン部は、上は世界で戦う選手から下は完走を目的とする選手まで、それぞれの目標を持った選手たちが集まって日々の練習に励んでいます。和泉体育館プールを主な活動場所とし、平日のスイム練習+ジョギング、週1回の陸上トラックを利用してラン練習、週末のバイク練習やミニ合宿を基本として3種類のバランスを考えた練習を行っています。

競技自体がどうしても苛酷なイメージを持たれがちですが、私たちの部ではトリアスロンという競技を楽しむことを第一

に考えており、明るく楽しい雰囲気の中で、男女の差やレベルの差に関係なく、一緒に毎日の練習が行われています。もちろん体力の限界に挑戦するという競技でもありま

すので、つらい面もないというわけではありません。しかし、本気を楽しめるというのもこの競技の魅力の一つであると感じています。

今年度はインカレ団体優勝を部の目標に掲げ1年間活動してきました。ところが、インカレではス

イムを得意とする明治の上位陣が、レース展開の不運に見舞われ、個人・団体ともに満足のいく結果を残すことはできませんでした。

主な成績…◇インカレ予選関東大



前主将・桜井聡史(文学部3年)

相談室の窓から

中村文隆

(相談員・政治経済学部教授)

大学は少子化の影響を受けている。その1つが、大学の広き門をいことにして、大学に入ったら「大学生の自覚」が生まれるだろうという、他者による覚醒の時待つ学生の出現である。それは多くの大学での現象である。狭き門が良いのではなく、「高校時代からの連続性」を問う機会を喪失させたことが問題なのです。

「教員に質問すること」

は学問の専門性や多様性に基づくもので大学教育の根幹に関わる以上、学生諸君にもそのシステムを積極的に評価してもらえないであらう。その上で、教員ひいては大学の「距離感の不安定性」が学生のちよっとした行動から解消できた

が問われるのを許さないのではありませんか。大学の教員は、高校時代の教師と異なり、学生の質問内容によっては直接答えを用意しないかもしれません。それは教師が学生に「考える」ことを要求し、その上で、論議の展開を期待するからで、学生相談室にいらしてください。

たとえば、学生は高校までの「教員との距離感」でもって大学教員に対応し、教員からのアプローチの少なさに自分が無視された思いを抱く場合もある。勿論、単位制という大学の教育システムが高校の授業と異なって教師と学生との距離を作り出しているが、それ

事例も多くある。大学の講義の終了後に先生に質問をされたことがありますか。質問しないのは、「先生が忙しい」から「自分の質問内容が幼く貧弱に思える」まで様々あるでしょうが、そのなかに、ひよっとして、先生と論議して、自分の大事にしてきた「個性」

す。その論議の過程で、きつと、多くの事実が明らかにになり、「高校時代からの連続性」の下の個性の掘って立つ基盤を揺るがすかもしれない。鍛えられようとしないう個性、論争しない個性、チャレンジしない個性は個の成長を望めないのではないのでしょうか。

新しい個性の確立こそが新たな「教員との距離感」を作り出すことになるだろうと思う。そのためにも、大学の4年間を通して教室で教員に質問をしてください。論議する場は見渡せば溢れるほどあります。教員は質問を受けるプロです。教員は時間的な都合がつく限り、学生からの質問を待っているでしょう。エツ、質問できない、ウーム。

学費の納入について

- 後期分(二部は2期分・3期分)の学費をまだ納めていない方は、至急納入してください。
- 次年度の学費振込用紙は、4月2日(金)発送予定です。納入期限は4月20日です。口座番号や振込金額が間違っていた場合、未納扱いとなりますので、必ずお手元に届く振込用紙で口座番号・金額を確認してからお振込みください。住所・送付先等に変更がある場合は、所属する学部・短期大学・大学院の各事務室へ至急「変更届」を提出してください。
- 2月・3月の事務取扱いは次のとおりです。
月～金 9:00～17:00
土 8:30～12:00

☆財務部資金課学費係

TEL 03-3296-4096・4097

2004年度 学生定期健康診断のお知らせ

定期健康診断を次の日程で実施しますので必ず全員受診してください。

学生事務部

4月3日から順次スタート

【駿河台校舎】受付：リパティタワー15階

	9:00～11:00	13:00～15:00	17:00～19:00
4月3日(土)	全学部 4年生 短大2年生・大学院 女子	商・政経学部 4年生 大学院 男子	二部法・商学部 大学院 男子
4月5日(月)	法・文・経営学部 4年生 大学院 男子	全学部 3・4年生 大学院 女子	二部政経・文学部 男子
4月6日(火)	商・政経学部 4年生 男子	法・文・経営学部 4年生 男子	二部全学部・大学院 女子
4月8日(木)	法・商・文学部 3・4年生 女子	商・政経学部 3年生 男子	二部法・商学部・大学院 男子
4月9日(金)	法・文・経営学部 3年生 大学院 男子	政経・経営学部 3・4年生 短大2年生 女子	二部全学部・大学院 女子
4月10日(土)	商・政経学部 3年生 男子	法・文・経営学部 3年生 大学院 男子	《18:30で終了》 二部政経・文学部 男子

【和泉校舎】受付：第一校舎 1階ラウンジ

	9:00～11:30	13:00～15:30	15:30～17:00
4月5日(月)	政経学部・情報コミュニケーション学部 1年生 男子	文学部 1年生 男子	
4月6日(火)	経営学部 1年生 男子	法学部 1年生 男子	商学部 1年生(28組以降) 政経学部 1年生(社会人入試) 男子
4月8日(木)	商学部 1年生 (1～27組) 男子	商学部 1年生 (1～27組) 経営学部 1年生 女子	商学部 1年生(28組以降) 政経学部 1年生(社会人入試) 女子
4月9日(金)	法・文学部 1年生 女子	法・政経・情報コミュニケーション学部 1年生 女子	
4月10日(土)	法・商・政経・文・経営学部 2年生 女子	法・商・政経・文・経営学部 2年生 男子	
4月12日(月)	法・商・政経・文・経営学部 2年生 男子	法・商・政経・文・経営学部 2年生 男子	

【生田校舎】受付：食堂スクエア21 1階ラウンジ

	9:00～11:00	12:30～15:20
4月5日(月)	理工・農学部 2～4年生・大学院 男子	理工・農学部 2～4年生・大学院 男子
4月6日(火)	理工・農学部 1～4年生・大学院 女子	理工学部 4年生・大学院 男子
4月8日(木)	農学部 4年生・大学院 男子	理工学部 1年生 男子
4月9日(金)	理工・農学部 1～4年生・大学院 男子	農学部 1年生 男子
4月10日(土)	理工・農学部 1～4年生・大学院 男子	理工・農学部 1～4年生・大学院 女子

- 註1 スケジュール変更もありますので、詳細は各地区掲示板またはホームページで確認ください。
- 検査項目：身長・体重・視力・検尿・血圧・問診・内科診察・胸部X線
 - 受診に必要なもの：学生証、HB鉛筆、メガネ・コンタクト(使用者)、無地のTシャツ(女子)
 - 2004年度に和泉体育館内のコンディショニングルームを利用するためには、この「定期健康診断」を受診していること、コンディショニングルームの「利用講習」を受講することが条件となっています。



旧パリ大学法学部（現パリ第1、2、5大学共用）

パリ発祥の地であるシテ島、その最高裁判所前からサンミッシェル大通りを南に下って行き、ソルボンヌの教会を左手に過ぎると、リュクサンブール公園の東口に至

大学史の散歩道

57

大学史資料センター委員

村上 一博 (法学部教授)

岸本辰雄・宮城浩蔵のパリ下宿

る。振り返れば、スフロ通りの奥カルチエ・ラタンの丘にパンテオンの偉容が迫っている。パンテオンに向かって進もう。通りの左側には Daloz など法律書専門店が並ぶ。パンテオンの正面に向かって立ち、左手を仰ぎ見る。「FACULTE DE DROIT」の金文字が眼に飛び込んでくる。そう、ここがパリ大学旧法学部、今から一二〇年以上前に、若き日の岸本辰雄・宮城浩蔵が司法省留学生たちで、初めて正規の法学教育を受けた所である。

岸本・宮城に小倉久を加えた三名は、明治九年秋にパリ大学法学部に入学した。前年に、木下廣次・磯部四郎・熊野敏三・井上正一ら一〇名が既に入学しており、岸本ら三名は、司法省法学校正則科一期生のパリ留学組の第二弾ということになる。岸本・宮城らのパリ生活を伝えてくれる当時の学習ノートや日記あるいは書信の類はほとんど残されていないが、パリの国立古文書館に保管されている学籍記録から、彼らのパリ生活の一端を知ることができる。学籍記録によると、岸本と宮城は、一八七六年一月一日〜三日にパリ大学法学部への登録許可(文科バカロレア資格の免除)を得て、同月一日に揃って第一回目の授業登録を行っている。岸本は、その後も順調に勉学を進め、七九年六月一七日に最終第一二回登録を終え、一月一九日には法学士論文の口頭試問を受け、一月三日に学士号を取得した。他方、宮城は、大病を患ったために、七七年一月五日の第五回登録から七八年六月二六日の第六回登録まで、半年以上を要し、漸く七九年一月五日に第一〇回登録にまで漕ぎつけているが、その後の消息について学籍簿は何も語ってくれない。おそらく、岸本らが業を終えてパリを離れたこともあって、宮城は、八〇年の冬学期からリヨン大学に転学したと推測される。パリ大学法学部におい

いま、こんな本が売られています！

校舎別書籍販売ベスト5

《2003年10月~12月実績》

●駿河台校舎 (三省堂書店/12号館B2)

順位	書名	出版社	価格
1	ポケット六法 平成16年版	有斐閣	1,500
2	最新最強のSPI クリア問題集	成美堂出版	1,200
3	就職四季報	東洋経済新報社	1,857
4	図解革命！業界地図最新ダイジェスト	高橋書店	1,000
5	この業界・企業でこの「採用テスト」が使われている！	洋泉社	1,400

●和泉校舎 (三省堂書店/厚生会館2F)

順位	書名	出版社	価格
1	ポケット六法 平成16年版	有斐閣	1,500
2	バカの壁	新潮社	680
3	民法総則 伊藤真試験対策講座	弘文堂	2,600
4	世界の中心で、愛をさけぶ	小学館	1,400
5	刑法総論 伊藤真試験対策講座	弘文堂	3,750

●生田校舎 (丸善ブックセンター/部室センター1F)

順位	書名	出版社	価格
1	バカの壁	新潮社	680
2	TOEIC テストスーパー模試600問	アルク	2,200
3	超速マスター！Eメール・履歴書・エントリーシート成功事例集	高橋書店	1,300
4	TOEIC TEST 基礎1200語	語研	1,800
5	8割が落とされる「Webテスト」完全突破法！	洋泉社	1,400

（明大サポート調べ）

官としては、Bulnoir, Gide, Leveille, Viatrin, Rataud などの名前が知られている。さて、パリ大学旧法学部の正門を出て、校舎を左手に回り込んで



岸本辰雄の下宿

クジャス通りに出よう。右手にクジャス図書館、次いでソルボンヌ校舎をやり過ごし、サンミッシェル大通りを横切って、さらにヴォジラール通りを行くと、オデオン座に行き着く。オデオン座正面に向かって左手、ラシーヌ通り二三番地 (23, rue Racine) の Hotel Relais Medias, ここがかつて岸本が、西園寺公望・熊野とともに三年あまりを過ごした旧学生下宿である。ほんの十数メートル先のムッシュ・ル・プリンス通り四三番地 (43, rue Monsieur le Prince) の Hotel Saint Paul が、宮城の旧下宿であり、木下・磯部・井上らの下宿も、徒歩一分と離れていない場所にあった(7, rue Casimir Delavigne の旧 Hotel Saint-Sulpice / 現在 Hotel Jardin として)。



宮城浩蔵の下宿

明大ニュース

受賞

★大学院経営学研究科・石川公彦さんが労務理論学会研究奨励賞受賞★

大学院経営学研究科博士後期課程3年の石川公彦さんが労務理論学会の2003年度学会賞(研究奨励賞)を受賞した。

同学会は、経営労務のアカデミックな理論的研究を目的に労働者の雇用と労働の実態について実態的研究、歴史的研究、国際比較研究、理論的研究を行っている。この賞は、学会員の研究活動を奨励することを目的に「学会誌」に掲載された論文のなかから満35歳以下、又は大学院後期博士課程在学中の学会員を対象に選ばれるもの。

審査対象となった石川さんの論文「90年代における倒産反対争議」(労務理論学会誌第12号)は、中小零細企業経営者および労働者の日常的関係をも含めた団結の問題について新たな視点から解明し、また、自身の現場労働などを踏まえた厳密な論証の試みなど、その研究方法や研究視点などが高く評価されて受賞した。

★大学対抗簿記大会で明大チームが優勝・準優勝・8位と活躍★

11月8日、大原簿記学校主催による2003年秋季全国大学対抗簿記大会が開催され、団体戦1級の部で商学部松本様ゼミナールAが見事優勝、商学部鈴木義夫ゼミナールAが準優勝し、8位に会計

学研究会が入った。また、個人戦1級の部では20位以内に3名が入るなど活躍した。

この大会は、全国116大学から1777人が参加するなど「簿記のインターカレッジ」として全国大学生の注目を集め、日簿簿記検定直前のプレ検定としての役割も帯びている。

優勝した松本ゼミナールAチームは、「メンバー全員が公認会計士を目指している」のでこの結果は大きな自信になる」とコメント、準優勝の鈴木ゼミナールAチームは「初出場で準優勝という成績はとても嬉しい、次回は是非優勝を狙いたい」と語っている。

★フランス語スピーチ大会で文部4年・平野暁人君が2位に☆

12月13日、財団法人日独協会主催による第6回ドイツ語スピーチコンテストが開催され、原稿審査を通過した10人が出場した。明大からは文部4年の田尻みのりさんが出場、「心の中の壁」のテ

マでスピーチし、スピーチと質疑応答の結果、見事優勝した。田尻さんは、「一昨年、イエーナ大学に第1期生として留学したことがきっかけで母の勧めもあり、初めて応募した。牧野フライス製作所に就職が内定しており、ドイツにも事業所があるので、そこでドイツ語を活かせれば」とコメントを寄せている。

学生ボランティア団体支援

☆心身障害者福祉会「しいの実」が(財)学生サポートセンターの支援団体に選考される☆

(財)学生サポートセンターでは、自由な発想と行動力によって社会貢献を計画・実行している学生団体を対象に、組織の活性化やネットワーク作りなどを経済的に支援し、併せて学生の自発的社会参加とリーダーシップの育成効果を期待するため、学生ボランティア団

11月29日、朝日新聞社主催による第42回コンクール・ド・フランス決勝大会が開催され、原稿審査を通過した17名が出場した。明大からは文部4年の平野暁人君が出場、「自分の将来の夢」のテーマでスピーチし、スピーチと質疑応答による審査の結果、2位に入賞した。

平野君は、「フランス語は、始めると面白かった。水林先生の紹介もあり、初めてだったが応募した。将来はフランス語を生かした道に進みたい」と語っている。

マでスピーチし、スピーチと質疑応答の結果、見事優勝した。田尻さんは、「一昨年、イエーナ大学に第1期生として留学したことがきっかけで母の勧めもあり、初めて応募した。牧野フライス製作所に就職が内定しており、ドイツにも事業所があるので、そこでドイツ語を活かせれば」とコメントを寄せている。

体を募集していたが、このほど明大のサークル・心身障害者福祉会「しいの実」が選考され、助成金を受けることになった。

▼(J.R・地下鉄線「市ヶ谷」駅) 曲目「カノン」他

▼《弦楽コンサート》 日時「3月5日(金) 18時30分開演

▼会場「ルーツ市ヶ谷センター」(J.R・地下鉄線「市ヶ谷」駅)

▼曲目「アブラザール組曲」他

▼《金管・打楽器コンサート》 日時「3月12日(金) 夜公演

▼会場「亀戸文化センターカメリアホール(J.R線「亀戸」駅)

▼曲目「アメリカンコミックテーマソングメドレー」他

▼いずれも入場無料、問い合わせ等は meiko_koho@hotmail.com

演奏会だより

★明治大学交響楽団演奏会★

《木管コンサート》 日時「3月3日(水) 18時30分開演 会場「ルーツ市ヶ谷センター」

訂正 前号の325号5面6段目の右から15行目に誤記がありましたので訂正します。

正 関根床用鋼板株式会社 誤 関根床用銅板株式会社

2003年12月

学生・教職員の皆さんへ

学 長

SARS (重症急性呼吸器症候群) について

本年7月5日、世界保健機関(WHO)においてSARS流行の終息宣言が行なわれた後は、10月現在、WHOが指定する流行地域はありません。

しかしながら、SARSについては、感染メカニズムが解明されていないこと、病原体であるSARSコロナウイルスは寒さや乾燥を好む性質があることなどから、冬になると再び流行する恐れもあります。

また、ワクチンや治療法等についても、現在、研究・開発が進められていますが、実用化できる段階に至っていません。

これらのことを考慮して、引き続き注意を怠ることなく、うがい・手洗い等、予防対策を取るようしてください。渡航や来航者の受入にあたっては、これらに関する最新情報を収集して、対処してください。

なお、家族・本人等を含め、種々の条件から推測して、感染の懸念が自己の周辺に感じられた場合は、ただちに最寄りの保健所・医療施設や各校舎診療所に必ず電話で問い合わせてください。以上

《参考》SARSが疑われるのは…

- ① 10日以内にSARSの流行地域から帰国するか、又は10日以内にSARS患者の咳を浴びたり、痰や体液に触れる等の濃厚な接触があった方で、
- ② 38℃以上の発熱、
- ③ せき又は息切れ等の呼吸器症状がある方です。

《関連情報》

外務省渡航安全情報 (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/>)
厚生労働省 (<http://www.mhlw.go.jp>)
東京都感染症情報センター (<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp>)
WHO (<http://www.who.int>)

2004年度 学年 暦

[前期]

前期期間 4月1日(木)～9月19日(日)
学習指導 駿河台・和泉校舎 4月3日(土)～4月10日(土)
生田校舎 4月5日(月)～4月9日(金)

入学式 4月7日(水)

授業開始 駿河台・和泉校舎 4月12日(月)
生田校舎 4月10日(土)

前期補講 駿河台・和泉校舎 7月3日(土)～7月17日(土)
生田校舎 の3週土曜日の通常時限を利用
7月20日(火)・21日(水)

前期試験開始 7月22日(木)

授業終了 7月31日(土)

夏季休業 8月1日(日)～9月19日(日)

[後期]

後期期間 9月20日(月)～3月31日(木)

授業開始 9月20日(月)

冬季休業 12月25日(土)～1月7日(金)

月曜授業振替日 12月21日(火)

月曜授業の祝日実施日 9月20日(月)・1月17日(月)

月曜授業の祝日実施に伴う振替休講日 12月22日(水)・12月24日(金)

後期補講 駿河台・和泉校舎 12月11日(土)～1月8日(土)
生田校舎 1月21日(金)・22日(土)

後期試験開始 駿河台・和泉校舎 1月22日(土)

生田校舎 1月24日(月)

授業終了 2月4日(金)

卒業式 3月26日(土)

※補講日については、学部により上記以外の場合もある。